



一般事業主行動計画策定・変更届

届出年月日 平成 26 年 11 月 26 日

都道府県労働局長 殿

一般事業主の氏名又は名称 三協建設株式会社
(法人の場合) 代表者の氏名 代表取締役 堀松 秀樹

住 所 〒077-0006

北海道留萌市末広町3丁目1番1号

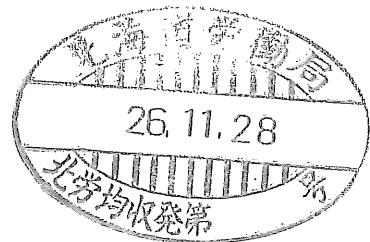
電 話 番 号 0164-42-1475



一般事業主行動計画を (策定)・変更) したので、次世代育成支援対策推進法第 1 2 条 (第 1 項・第 4 項) の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. 常時雇用する労働者の数 27 人
2. 一般事業主行動計画を (策定)・変更) した日 平成 26 年 11 月 21 日
3. 変更した場合の変更内容
 - ① 一般事業主行動計画の計画期間
 - ② 目標又は次世代育成支援対策の内容 (既に都道府県労働局長に届け出た一般事業主行動計画策定・変更届の事項に変更を及ぼすような場合に限る。)
 - ③ その他
4. 一般事業主行動計画の計画期間 平成 26 年 12 月 1 日 ~ 平成 28 年 11 月 30 日
5. 目標
 - ① 雇用環境の整備に関するものを定めている
 - ② ①以外の次世代育成支援対策に関するものを定めている
 - ③ ①と②の両方を定めている
6. 一般事業主行動計画の公表の方法
 - ① インターネットの利用 (自社のホームページ)・両立支援のひろば・その他 ()
 - ② その他の公表方法 ()
7. 一般事業主行動計画の労働者への周知の方法
 - ① 事業所内の見やすい場所への掲示又は備え付け
 - ② 書面による労働者への交付
 - ③ 電子メールによる送信
 - ④ その他の周知方法 ()
8. 次世代育成支援対策の内容 (第三面に記載すること)
9. 次世代育成支援対策推進法第 1 3 条に基づく認定の申請をする予定 (有・無・未定)



三協建設(株) 行動計画

全ての社員がその能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備を行うとともに、次世代育成支援について地域に貢献することにより企業イメージの向上を図ろうとする企業です。

1 計画期間 平成 26 年 12 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日までの 2 年間

2 内容

目標 1 平成 28 年 11 月までに年次有給休暇の取得率を 40%以上とすること。

<対策>

- 平成 26 年 12 月～ 電子メール・社内報を活用した周知、啓発の実施。

目標 2 平成 19 年 5 月より地域における子供の健全育成のために、本社前交差点においての児童登校時における交通安全活動を実施。
この活動を期間内実施すること。
また期間外においても継続的に実施すること。

<対策>

- 毎週月曜日午前 7 時 30 分から午前 8 時までの間、自社交通安全旗を掲げ交差点で交通安全活動を年 40 回実施。

目標 3 平成 28 年 12 月までに、若年者に対するインターンシップ等の就業体験期間提供の受け入れ体制を創設する。

<対策>

- 平成 27 年 5 月 インターンシップ受け入れ体制についての検討開始
- 平成 27 年 6 月～ 事業所受け入れ担当者に対する研修を年 1 回実施。

行動計画策定 指針の事項		次世代育成支援対策の内容として定めた事項
1 雇用環境の整備に関する事項	(1) 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇 用環境の整備	ア 妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保について、労働者に対する制度の周知や 情報提供及び相談体制の整備の実施
		イ 子どもが生まれる際の父親の休暇の取得の促進
		ウ 育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度の実施
		エ 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備として次のいずれか一つ以 上の措置の実施 (ア) 男性の育児休業取得を促進するための措置の実施 (イ) 労働者の育児休業中における待遇及び育児休業後の労働条件に関する事項 についての周知 (ウ) 育児休業期間中の代替要員の確保や業務内容、業務体制の見直し (エ) 育児休業をしている労働者の職業能力の開発及び向上のための情報提供 (オ) 育児休業後における原職又は原職相当職への復帰のための業務内容や業務 体制の見直し
		オ 子どもを育てる労働者が利用できる次のいずれか一つ以上の措置の実施 (ア) 三歳以上の子を養育する労働者に対する所定外労働の免除 (イ) 三歳以上の子を養育する労働者に対する短時間勤務制度 (ウ) フレックスタイム制度 (エ) 始業・終業時刻の繰上げ又は繰下げの制度
		カ 子どもを育てる労働者が利用できる事業所内保育施設の設置及び運営
		キ 子どもを育てる労働者が子育てのためのサービスを利用する際に要する費用の援助の措置 の実施
		ク 労働者が子どもの看護のための休暇について、時間単位で取得できる等より利用しや すい制度の導入
		ケ 希望する労働者に対する勤務地、担当業務の限定制度の実施
		コ 子育てを行う労働者の社宅への入居に関する配慮、子育てのために必要な費用の貸 付けの実施など子育てをしながら働く労働者に配慮した措置の実施
		サ 育児・介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基 準法に基づく産前産後休業など諸制度の周知
		シ 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施
		その他 (概要を記載すること)
	(2) 働き方の見直しに資 する多様な労働条件 の整備	ア 所定外労働の削減のための措置の実施
		イ 年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施
		ウ 短時間正社員制度の導入・定着
		エ 在宅勤務等の場所・時間にとらわれない働き方の導入
		オ 職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識の是正のための情報提供・研修の実施
		その他 (概要を記載すること)
	2 1以外の次世代育成支援対策に 関する事項	(1) 託児室・授乳コーナーや乳幼児と一緒に利用できるトイレの設置等の整備や商店街 の空き店舗等を活用した託児施設等各種の子育て支援施設の提供
(2) 地域において子どもの健全育成のための活動 支援するなど、子ども・子育てに関する地域		
(3) 子どもが保護者である労働者の働いているところを実際に見ることができる「子ど も参観日」の実施		
(4) 労働者が子どもとの交流の時間を確保し、家庭の教育力の向上を図るため、企業内 において家庭教育講座等を地域の教育委員会等と連携して開設する等の取組の実施		
(5) 若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供、トライアル雇用等を通じ た雇入れ又は職業訓練の推進		
その他 (概要を記載すること)		